

【授業科目】 地域看護活動論Ⅳ（政策・組織化、社会資源開発） Community Health Nursing Ⅳ

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
大谷喜美江、後藤由紀、 多次淳一郎、佐藤優子	4年次 前期	選択	1	30	演習	あり	巻末 掲載	可
授業概要 (内容と進め方)及び 課題に対する フィードバック 方法	授業概要/地域診断から抽出された保健課題を解決するために必要な情報収集および整理を行い、法や条例等を理解したうえで、行政の基本方針・基本計画との整合性を図りながら施策化する。施策化には予算や人事配置等の看護管理、地域住民が主体的に参画できるような機会と場、方法やネットワークの構築、問題解決のためのシステム化、活用できる社会資源の開発等を考慮しながら行う。以上を演習にて展開する。 課題に対するフィードバック方法/提出された課題について、全体の総評コメントを資料にて公開する。							
授業の 位置づけ	④「国際的視野で看護を考え、ヘルスケアシステムにおける看護の専門性を理解し、保健・医療・福祉の専門職と連携し、地域社会に貢献できる」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)	① 地域の人々の特性・ニーズに基づく施策を立案できる。 ② 施策化の必要性を説明するための資料をつくることできる。 ③ 施策化の必要性を関係する部署・機関に根拠に基づき説明することできる。 ④ 政策・組織化、社会資源開発における保健師の役割を明確化できる。							
時間外学習 に必要な 内容・時間	地域看護活動論Ⅱで学んだ地域診断の方法および収集した情報の内容を学習しておく。また、地域看護学で使用した教科書から関連する事項を復習しておく。(各30分) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合:予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合:予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合:予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。							
授業計画	第1回 施策化・システム化とは、社会資源の開発とその管理・活用 第2回 地域看護管理とは 第3回 地域組織の支援の実際とネットワーク化・システム化の意義 第4回 自治体事例を用いた施策化の理解/演習ガイダンス 第5回 自治体事例を用いた情報整理・統合① 第6回 自治体事例を用いた情報整理・統合② 第7回 事例に対する健康課題の抽出 第8回 事例に対する施策化の立案(法や条例等/社会資源開発/予算・人材を含む)① 第9回 事例に対する施策化の立案(法や条例等/社会資源開発/予算・人材を含む)② 第10回 事例に対する施策化の立案(法や条例等/社会資源開発/予算・人材を含む)③/施策化の実際 第11回 施策化の根拠資料作成(発表会準備)① 第12回 施策化の根拠資料作成(発表会準備)② 第13回 発表(提案) 第14回 発表(提案) 第15回 まとめ						大谷 大谷 大谷 大谷/全員 全員 全員 全員 全員 全員 全員 全員 全員 全員 全員	
評価方法 評価基準	参加態度(35%)、課題内容(45%)、講義内での確認問題(20%)で総合的に評価する。							
教科書	標準保健師講座1「公衆衛生看護学概論」医学書院 (3年生前期「地域看護活動論Ⅱ」で購入したもの)	参考書等	公衆衛生がみえる メディックメディア その他、必要に応じて適宜紹介する					
学生への 助言等	保健師として卒業時には到達しておきたい項目の演習です。実習、国家試験につながりますので、積極的に取り組まれることを期待します。							